

考古博物館活用基本方針（概要版）

■策定の経緯

- 本方針は、令和3年4月1日の文化財保護活用課の新設と飯田市上郷考古博物館の当該への所管替えを契機に、考古博物館の活用を図ることで国史跡等の価値や魅力の周知が進むとともに、文化財を介して市民が歴史文化への理解が深まり、その活用や保存継承に繋がるように策定するものです。

現在の課題

- 国史跡の調査研究と国史跡「飯田古墳群」のガイダンス施設
- 活用できない出土遺物【飯田市考古資料館（上川路）の常時開館停止 平成31年4月～】
- 平成5年の開館以来、展示更新なし【旧上郷町主体の展示】
- 市内の遺跡を素材とする教育普及、市民や地域による文化財活用の支援

基本的な考え方

- 史跡を中核に考古分野から飯田・下伊那地域の魅力や特徴を紹介する「展示」機能の充実
- 発掘調査をもとに、地域の歴史・文化の成り立ちを追求し、その成果を市民に還元するための「調査研究」の充実
- 地域の歴史や文化財を活用した特色あるまちづくり、人づくりに繋げるための「教育普及」の充実、特に「市民活動」の支援

目指す姿

- 史跡飯田古墳群の価値を伝える展示を行い、史跡の活用に繋がる博物館
※史跡飯田古墳群のガイダンス機能を付加
- 考古分野における調査研究・教育普及の拠点となる博物館
- 考古分野を通じ、地域を知る学びの場、集い交流する場となる博物館
- 埋蔵文化財への理解が深まるよう情報発信する博物館
- 多様な主体との協働、他の社会教育機関、他市町村と連携する博物館
(裏面イメージ図参考)

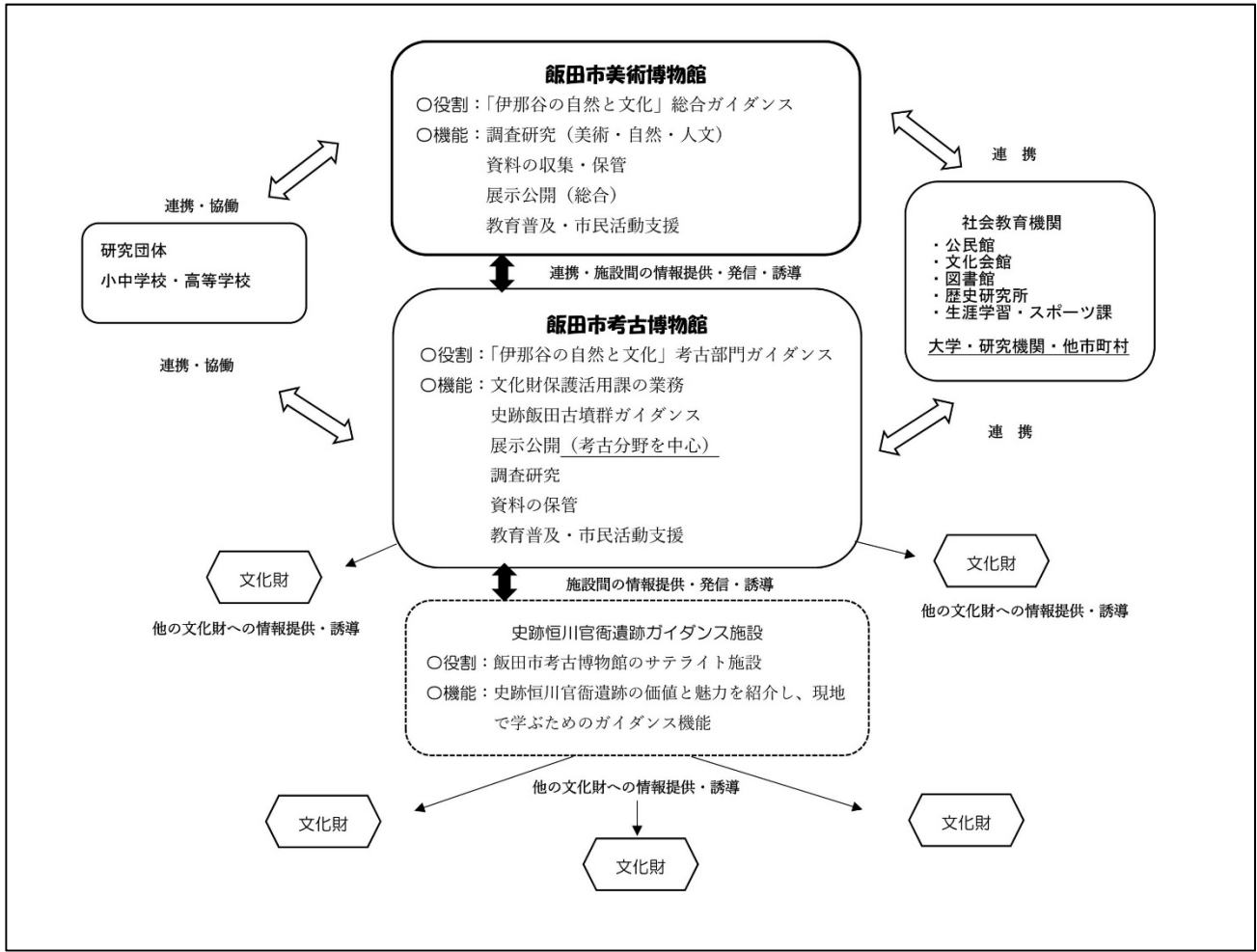
主要な取組み

- 展示の更新
※展示テーマ「飯田のむかしからいまを知る～東西交流の結節点に生まれた個性あふれる文化～」
- 国史跡「飯田古墳群」「恒川官衙遺跡」の調査研究の継続深化
- 市内の文化財に関連した内容や後継者育成に結び付く教育普及活動
- 考古資料センターを設け、収蔵図書等の資料を市民や研究者に開放
- 「伊那谷の自然と文化」を共通テーマとする催し事や、施設間の誘導、情報発信等を連携実施

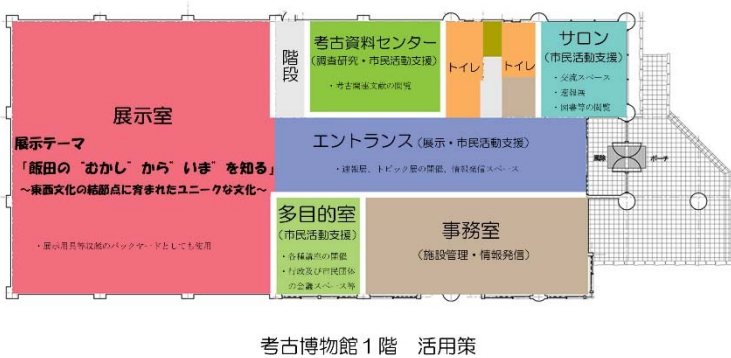
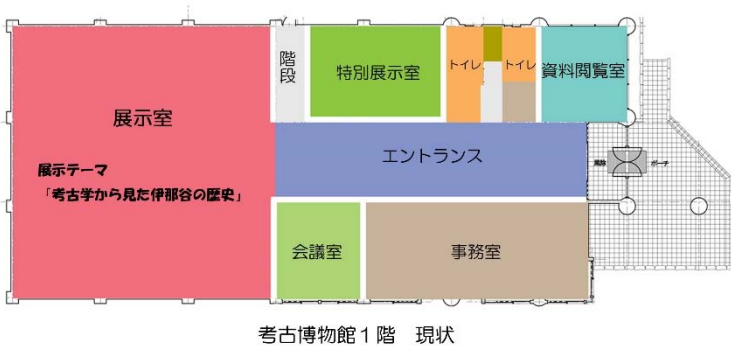
その他の取組み

- 照明のLED化、空調設備の改修
※「飯田市教育委員会施設等総合管理計画」に基づき実施
- 考古資料館に関わる取組み
※展示品・収蔵図書・記録類の考古博物館への移管と整理
※リニア関連事業終了時に閉館し、市有地の施設については遺物収蔵庫とする
- 収蔵庫に関する取組み
※リニア関連調査により収蔵量が増加し、保管場所が不足する見込み
※考古資料館の借地に所在する収蔵施設の移築
- 博物館の名称変更
※「飯田市上郷考古博物館」から「飯田市考古博物館」に名称変更

施設の機能・役割と連携のイメージ図



考古博物館1階ゾーニング



考古博物館地階ゾーニング

